

# 人形型コミュニケーションロボットが高齢者の「生きがい」を創出するメカニズム

## 認知症を伴う女性高齢者への心理的影響と行動変化の分析

超高齢社会における不安や寂しさを軽減し、自己肯定感とQOLを向上させる低コストかつ効果的なアプローチ



### 背景

「超高齢社会」「老老介護」  
「認知症高齢者」の増加に伴う、  
不安・孤独感の拡大。



### 調査対象

女性高齢者 6名 (85~94歳)  
要支援2~要介護5 / 独居1名・  
施設入居5名

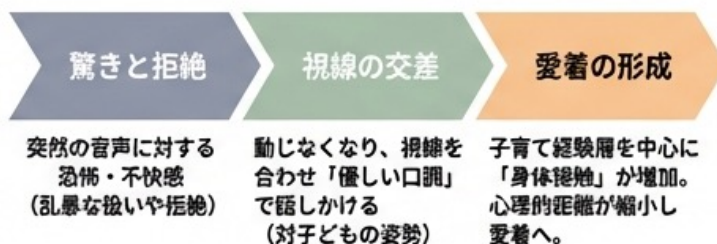
※全員がアルツハイマー型または  
レビー小体型認知症



### 調査方法

人形型ロボットを同時に渡し、  
経過観察とインタビューを実施。

### コミュニケーションの変容プロセス



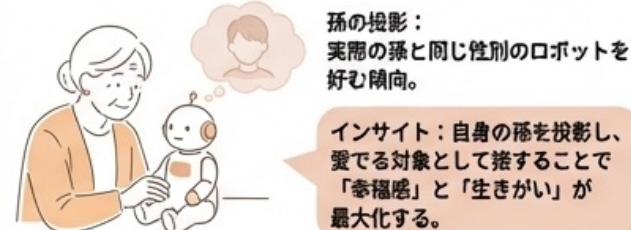
### 人型（赤ちゃん型）の心理的意義



### 機能もたらす治療的価値



### パーソナライズと投影効果



### 「ケアされる側」から「ケアする側」への意識転換

人形型ロボットとの対話や身体接触は単なる暇つぶしではない。高齢者の内に眠る「役割意識（使命感）」を呼び覚まし、  
失われがちな「生きがい」と「自己肯定感（QOL）」を再構築する強力な触媒である。